

九条の会第5回全国交流・討論集会に参加して

今こそ立ち上がるべき時

11月16日、東京での「第5回九条の会全国交流・討論集会」に参加、今日の厳しい情勢に立ち向う多くの仲間の力強い発言に感動しました。

まず呼びかけ人の大江健三郎氏は今や憲法を変えずに「解釈改憲」を進めていこうとしている危険、奥平康弘氏は秘密保護法案は憲法9条をないがしろにするもので危険、澤地久枝氏は秘密保護法案で事実上憲法を骨抜きにしようとしている危険をそれぞれ述べられ、今日の危機的状況を提示して九条の会の一層のとりくみの重要性を強調されました。

それに応えるように、憲法九条を守る首長の会が全国津々浦々に市町村長九条の会、首長の会の結成を呼びかけられ、今こそ立ち上がるべき時だと強く訴えられました。また、中央大学9条の会が他の大学とも連携して大規模なイベント「ピースナイト9」を12月に計画し、「9条と自分たちの未来を考えたい、800人の参加で大成功させたい」と決意を公表。まさしく全国の7,000の九条の会が総決起するときがきたのだ、行動に立ち上がろうと決意した集会となりました。 <西蔵町 竹内義三>



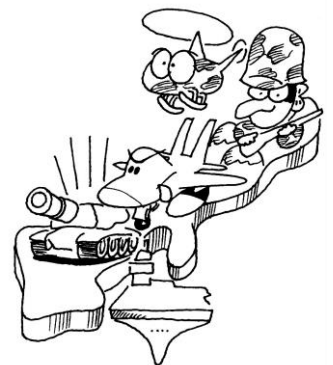
映画「標的の村」を観て

涙が止まらない…。私たちの知らない沖縄がそこにある。アメリカ軍・普天間基地が封鎖された日、全国ニュースから黙殺されたドキュメント。三上智恵監督作品である。

ベトナム村があったのを知っていましたか？（私は知りませんでした。→歴史でも習いませんでした。）1960年代、ベトナム戦を想定して沖縄にあるアメリカ軍の演習場に造られた村で、農村に潜むゲリラ兵士を見つけ出す襲撃訓練が行われていました。そこで南ベトナム人の役をやらされていたのが高江の住民なのです。

今現在も米軍の軍事訓練の標的にされながら、生活する東村・高江の人々。5年前、新型輸送機「オスプレイ」着陸帯建設に反対し座り込んだ住民に対し、国は「通行妨害」で訴えた。反対運動を委縮させるスラップ裁判である。（力のある団体が声を上げた個人を訴える弾圧・恫喝目的の裁判のこと）その過酷な沖縄の現状を全国民に知ってもらいたいと思う映画です。

<神戸市東灘区 久家登志子>



学習会のお知らせ

日時：2014年3月1日（土）

14時から

場所：上宮川文化

センター（予定）

講師：吉田健一弁護士

テーマ：集团的自衛権



芦屋九条の会

9周年企画のお知らせ

日時：2014年

6月28日（土）

場所：未定

講師：窪島誠一郎さん

（無言館館長）

